

校長室だより(No15)

R4. 11. 07

夕焼けがきれいな季節となりました。また、10月29日・30日には、川内公民館にて「町民文化祭」があり、本校からも児童の作品を展示させていただきました。

さて、過日には次のようなお話を子どもたちにしました。(少し前のお話です・・・)

コロナの感染が少しおさまり、旅行に出かける人も少しずつ日本では増えてきているようです。できればみなさんも、将来、機会があったら、海外へ旅行に行ってみてください。そして、行った国の文化に触れてきてください。もちろん、日本に来ている外国の方々ともふれあう機会を持つのもいいと思います。

そうすれば、今、世界で起こっている戦争や国どうしの争いごとが減るかもしれません。

争いごとが起こるとき、私は次のようなことが原因にあげられると思っています。

一つは、「相手のことをよく知らない」ということです。
もう一つは、「自分(たち)さえよければよい、という考えが潜んでいる」ということです。

もし、みなさんの歳の頃からたくさんの人どうしで交流のある国と、戦争を起こすでしょうか？
みなさんが小さい頃から、その国の人たちと仲良くしていれば、簡単に争いごとは起きないかもしれません。「私たちはあの国と争いたくはない。あの国の人たちは私たちの友達だ！」と反対をする人が出てくるかもしれないからです。

それから、自分たちさえよければよいという考え方。その反対には、「他の人たちはどうでもよい。自分たちさえ笑顔であれば・・・。」という考えが隠れている場合があります。「そのためには、(自国や他国の)他の人たちの笑顔は奪ってよい。」という考えに繋がってしまうおそれがあるのです。ですから、「自分笑顔、みんなも笑顔」になるために、考え行動することが大切なのです。

そのためにも今、みなさんは(コミュニケーションのための)国語を、そして3年生以上では、英語を学んでいますね。自分の気持ちや相手の気持ちが通じ合うように、これからも学びを続けていきましょう。

もちろん、戦争や争いごとがこれらのことだけで解決はしないかもしれません。

しかし現在、他国との関係では、公レベルではあまり上手くしていないように報道されていても、民間レベルでは仲よくしている国があります。また、ずっと昔に助けてもらった恩を感じ、日本人々が危機の時に、手を差し伸べていただいた国があるのも事実です。

国内でも、自然災害があったとき、たくさんの方がボランティアとして被災地に出向いたり、子どもたちを含め、進んで募金や寄付を行ったりする人がいます。学校では、今、児童会を中心に「世界の子どもたちにワクチンを」を合い言葉にエコキャップの回収をしているところです。

異文化理解を含め、「相手を理解しようとする事」、「自分も周りの人も笑顔になるための行動ができること」に取り組める児童は、将来、平和を希求できる人財に成長していくと考えます。今後も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

